

大腸菌で発現させたGST融合タンパク質の精製例

カラム：GSTrap FF 1 ml

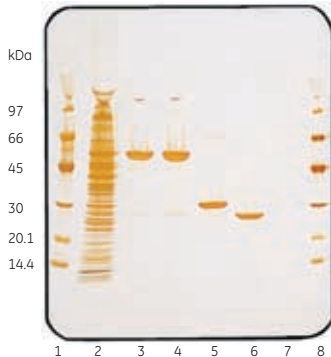
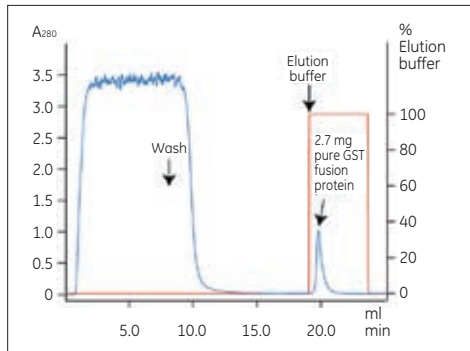
サンプル：GST融合タンパク質を含む大腸菌抽出物 8 ml

結合バッファー：10 mM Na_2HPO_4 , 1.8 mM KH_2PO_4 , 140 mM NaCl,
2.7 mM KCl, pH 7.3

溶出バッファー：10 mM 還元型グルタチオン, 50 mM Tris-HCl, pH 8.0

流速：1 ml/min

システム：ÄKTAexplorer 10S



ゲル：ExcelGel SDS Gradient
8-18 %

システム：Multiphor II

レーン1,8：LMW Marker Kit

レーン 2：クールドサンプル

レーン 3：GST融合タンパク質溶出画分
(GSTrap FF 1 ml使用)

レーン 4：GST融合タンパク質溶出画分
(GSTrap FF 5 ml使用)

レーン 5：GSTフリーの目的タンパク質
溶出画分
(16 h Thrombin処理後、
GSTrap FF 1 mlより溶出)

レーン 6：GST溶出画分

レーン 7：Thrombin溶液 (20 U/ml +
結合バッファー)